

ティーンズ通信 3月号

本を読むことで

広がる世界



イラスト:みるかのすけたろうさん(12歳)

みるかのすけたろうさん(12歳)

プチ図書館ボランティア

今月のコレ読も!!「文学が面白くなる本」

新しく図書館に入った本&マンガ

プチ図書館ボランティアを開催します

中央図書館で、プチ図書館ボランティアを開催します。

プチ図書館ボランティアには、図書館でボランティア活動ができる年齢に達していない方から大人の方まで、登録不要で参加できます。ご家族で、友人同士で、ボランティア活動の第一歩を踏み出してみませんか？

日時：3月14日（土）

10:30～12:00

場所：中央図書館 視聴覚室

内容：本の拭き作業

対象：親子、小学生、中学生、高校生、一般
（30人程度）

申込：不要です。当日会場へ直接お越しください。

持ち物：座布団、クッションなど
（必要な方。当日は床に座っての活動になります。）



2024年度開催時の様子。

分からないことがあっても、図書館の職員がサポートします。

※当日は、活動の様子を撮影します。撮影した写真は、図書館の広報活動等で使用させていただく場合があります。写真撮影を希望されない方は、当日の受付時にお申し出ください。

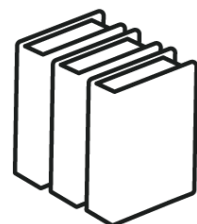
○図書館ボランティアとは

図書館には、ボランティアとして登録をして活動している方がいます。活動内容は配架（返却された資料を棚に戻す作業）や書架整理、中央図書館で毎週木曜日の午前で開催している「赤ちゃんタイム」のお手伝い、館内の環境整備（児童コーナーや青少年コーナーの飾りつけなど）です。

ボランティアには、中学生以上の方が応募できます（18歳未満の場合は保護者の同意が必要です）。プチ図書館ボランティアに参加して、図書館ボランティアにも興味をもっていたら、お気軽にカウンターへお問い合わせください。中央図書館とうずも図書館で随時受付しています。

詳しくは、神栖市立図書館のホームページをご覧ください。

神栖市立図書館ホームページ
図書館ボランティア





「文学」、というとなんだか難しそうに聞こえますよね。昔の人が書いていて、自分たちとは遠いところにあるような、国語の教科書に載っている、固そうなお話。しかし、何かひとつでも、面白いと思えるポイントが見つかれば、文学に対するイメージが変わるかもしれません。

近代文学をより楽しむ

『超訳マンガ×オチがすごい文豪ミステリー』

朝霧カフカ 編

KADOKAWA (Y910千)

この本を読んで気になった作品があれば、原作も読んでみる、という近代文学への入口としていかがですか。

ドキドキ、ハラハラ、まさかのオチ——。文豪たちの「オチがすごい」小説を、読みやすい超訳マンガで紹介。江戸川乱歩「人間椅子」、太宰治「犯人」など、全10話収録。朝霧カフカの「文豪作品をより楽しめるコメント」つき。

『走ってくれ、メロス。』 海野さやか ほか著

Gakken (YF ハシツ) ※矢田部公民館図書室にあります。

この本だけでも楽しめますが、原作を読んでからこの本を読むと、また違った面白さがあります。

もしもあの「脇役」が主人公だったら？ 太宰治「走れメロス」を、待たされるセリヌンティウスの目線で描いた表題作のほか、「ロミオとジュリエット」などの作品を、脇役目線で再構成したスピンオフ短編集。

あの作家が「文豪」じゃなかった頃…

『作家たちの17歳』 千葉俊二 著

岩波書店 (Y910千)

お気に入りの作品が見つかったら、その著者や書かれた時代背景について調べてみるのも楽しいですよ。

17歳のころ、太宰治も、宮沢賢治も、夏目漱石も、まだ「文豪」ではなかった。将来の夢、はじめての恋、進路の悩み、親との関係…。10代の彼らが向き合った人生の決断を、当時の日記や創作の言葉とともに紹介する。明治・大正時代の学校制度がわかるコラムも収録。

古典文学だって身近に思える？

『ゆるゆる古典教室』 栞葉るり 著

KADOKAWA (Y910.2シ)

古典作品やその作者を現代のコンテンツに例えていて、古典への親近感が持てそうです。

古典って意外と親しみやすい？ そんなに難しいことは書かれていない？ 昔の人って現代人に近い？ 「古典はその時代ごとにバズった覇権コンテンツの集合体」ととらえて、古典の楽しさ・面白さをマンガとともに伝える。

新しく図書館に入った本

今月号で紹介した図書はこちら



所蔵館

中央

中央図書館

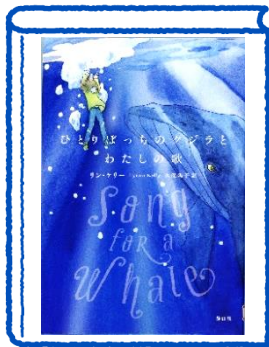
うずも

うずも図書館

矢田部

矢田部公民館図書室

『ひとりぼっちのクジラとわたしの歌』



中央

うずも

矢田部

12歳の少女アイリスは、ひとりきりで回遊しつつけるクジラ<ブルー55>を孤独から救うため、自分と同じで耳がきこえない祖母と、秘密の旅へ出た。どの地図にもものっていない、安らかに小さな自分だけの居場所のために…。

リン・ケリー 著 静山社
Y933ケ
※うずも図書館は児童933ケリ

『しらんけどな』



中央

うずも

矢田部

中津がボケて、港太が鋭くツッコむ、マンザイコンビ「しらんけどな」。名づけ親・小松崎絢香のダメ出しは今日もキツイ。近ごろコンビは空まわりで、解散の危機か!? 中学2年の3人がたどりついたそれぞれの答えとは――。

村上しいこ 著 さ・え・ら書房
YFムラカ
※うずも図書館は児童Fムラカ

『ロールモデルがない君へ』

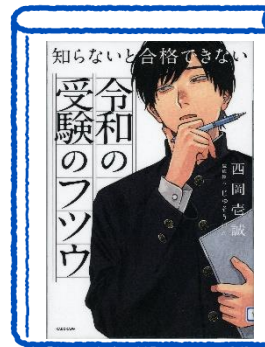


中央

日本のどこかに必ず仲間がいる。子どもの頃、あるいは、ティーンエイジャーの頃に、ロールモデルがいなかった12人のルーツが異なる仲間たちが、自らのライフストーリーを紹介し、次の世代にヒントとエールを贈る。

キリーロバ・ナージャ 著 KADOKAWA
Y316キ

『知らないで合格できない令和の受験のフツウ』



中央

受験制度の改定、入試方式の多様化など、入試の形は大幅に変わり、いまや戦略と情報を制するものが合格を手に行っている。最新データと現場取材をもとに、「令和の受験の常識」を徹底解明する。

西岡 耆誠 著 KADOKAWA
Y376ニ

中央図書館の新しいマンガ

『カッコウの許嫁』(吉河美希 講談社) 31巻

『税金で買った本』(系山岡 講談社) 18巻

『ミステリと言う勿れ』(田村由美 小学館) 16巻

『昭和天皇物語』(能條純一 小学館) 17巻

『チェンソーマン』(藤本タツキ 集英社) 23巻

『キングダム』(原泰久 集英社) 78巻

『BLUE GIANT MOMENTUM』(石塚真一 小学館) 6巻

『フットボールネーション』(大武ユキ 小学館) 20巻

『転生したらスライムだった件』(川上泰樹 講談社) 31巻

『七つ屋志のぶの宝石匣』(ニノ宮知子 講談社) 26巻

『おじさまと猫』(桜井海 スクウェア・エニックス) 16巻

『ブルーロック』(ノ村優介 講談社) 37巻

『魔王城でおやすみ』(熊之股鍵次 小学館) 31巻

『青のオーケストラ』(阿久井真 小学館) 14巻

『僕とロボコ』(宮崎周平 集英社) 25巻

『ねこねこ日本史』(そにしけんじ 実業之日本社) 17巻

『魔入りました!入間くん』(西修 秋田書店) 47巻

※マンガは予約ができません

3月の図書館は…

※毎週月曜日は全館
休館です

4日(水) 館内整理日(全館休館)

14日(土) 雑誌リサイクル(毎月第2土曜日)
プチ図書館ボランティア
10:30~ 中央図書館視聴覚室

22日(日) 一般映画会「遺体/明日への十日間」
2011年3月11日。
未曾有の大災害に直面しながらも、困難な状況と向き合った人々がいた。
彼らには、悲しむ時間さえ無かった――。

編集後記

・担当は学生時代古典が苦手だったのですが、これを機にちょっと読んでみようかな、などと思っています。(担当O)
・卒業される中高生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。(担当F)

ティーンズ通信 2026年3月号

発行 神栖市立中央図書館

神栖市大野原4-8-1 TEL 0299-92-3746

<https://www.kamisu-tosho.jp/index.html?id=3>

